

デイリーレポート

船長署名



船 名	大 島 丸		情報発信日時	2024 年 11 月 13 日 12 時 00 分			
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分	概位		響灘		
		<Lat. 34 - 01.5 N/S Long. 130 - 39.4 E/W >					
	停泊中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	錨泊中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	操業中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	観測中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
本船状況 気象海象	針路： 253 度		船速： 12.0 kt	天候： bc			
	風向： NE		風速： 8.5 m/s	視界： 7 湮			
	波高： 1.5 m		風浪階級： 3	うねり階級： 1			
乗船者 状況	乗組員	現在員： 19 名	健康状態： 良好 不良				
		摘要：					
	生徒	現在員： 10 名	健康状態： 良好 不良				
		摘要：					
	指導教官	現在員： 3 名	健康状態： 良好 不良				
		摘要：					
	支援員	現在員： 1 名	健康状態： 良好 不良				
		摘要：					
○本船動静 11月12日15時35分 三田尻中関港沖投錨 11月13日06時55分 同海域抜錨 11月13日09時47分～11時00分 関門航路通過 ○避航・避難理由 Nil							
【学校側コメント】 今朝06時55分、三田尻港沖を抜錨し、関門海峡航路向けとしました。数日間を掛けて瀬戸内海を航海して来ましたが、関門海峡航路を通過したら外海になります。実習生には久しぶりの動揺が待ち受けますが果たして…。 本日は早めにオールハンとし、遠方から関門海峡を望むことにしました。関門航路東口に入航したのは10時前、西口を出たのは11時丁度でした。この関門海峡は実に様々な船が往来します。外国船も多数通過します。船の大きさも様々です。それゆえに航法規定は細部にわたり、定められた規定は遵守しなければなりません。航法規定を遵守しながら、航路は狭く、大きく湾曲した箇所もある、しかも潮流は速く、同航路を通過するのはベテランの船長でも常に緊張感を持って細心の注意を払いながら操船指揮をする海域です。一番狭い関門海峡大橋の下では漁船も多数、しかも反航する大型船も存在しました。船舶運航系の実習生にとっては貴重な体験になりました。通過後の反省会や復習する場では、改めて本日の大島丸の航路航行の実際がどうであった海図上で研究してみても良いと思います。 関門航路通過後は、長崎港入港まで九州沿岸海域を航海します。船酔いとの戦いが始まります。負けるな！実習生諸君！							